

令和5年度第2回 教育・保育内容研修 感想アンケート

幼児教育センター

1 今回の教育・保育内容研修会はいかがでしたか？

① とてもよかった 13人

- 先生がとても話しやすい環境を作ってくださった。
- 人財育成の基本について学べた。
- 人材育成の内容に加えて、他園の方と意見交換や情報も聞くことができたので良かった。
- サーバントリーダーについて理解できた。

② よかった 1人

- 同じ立場の他園の先生方の話が聞けて良かった。

③あまりよくなかった 0人 ④よくなかった 0人 ⑤わからない 0人

2 本日の研修内容について理解が深まりましたか。

① はい 12人

② いいえ 0人

③ 分からない 0人

無回答 2人

3 今日の研修会の感想や学んだこと、気付いたこと等記入ください。

- 何でも言える、何でも聞ける、そんな存在になれるように、また園全体も先輩後輩関係なく「かかわれること」が一番良いことであり、保育の質も高まっていくのだと思った。
- 安心して仕事ができているかが一番大切。
- 人材育成のために私ができることは何だろうと考えることができました。何でも言える雰囲気を作りたいと思いました。
- 「同じクラスではないからこそ」外からフォローできること、話を聞いたり、褒めたりして、気持ちに共感していきたくと思いました。
- 子どもにも大人にも「共感する」ということが大切なのだと感じた。受け止める、支える、ということのポイントに、人材育成をしていきたくと思う。
- 認めて、褒めて育て、子どもと共に、大人も育っていきたく。
- 人材を育てるための新人指導は、経験の長い職員が行うものだと思っていたが、3年目位の職員が育てると、互いに成長し合える、というメリットもあると気付かされた。知らず知らずのうちに、支配型になってしまうことのないように、言葉のかけ方や雰囲気（話しやすい）を、大切にしていきたいと思った。

- 笑顔で働く先生がたくさんいると、私自身もすごく嬉しく、エネルギーがたまります。まずは、褒めるところから、意識的に取り組み、いろいろな先生と何気ない会話も大切にしながら、チーム力を上げていきたいです。
- 人は誰もが認められたい。役に立ちたい、と思っていることに気付いた。褒めた後に、相談してもらったタイミングを作ることも大切だと学ぶことができた。
- 存在を認める、受け止める、共感する、ということが子どもを育てる時に、気を付けていることと同じだと感じ、子どもと同じように、新任の先生に声掛けをしていきたいと思いました。
- 人材育成も保護者支援と同じで、「5褒めて、1突っ込む、そして1～2持ち上げる」ことが大切だと感じました。
- 人材ではなく、人財（たから）であることを踏まえ、職員みんなで育てていきたい。
- 傾聴、共感、癒しがあって安心する。安心・安定が一番基本。
- 自分が貢献できていると感じるような場、しかけが必要。
- 頑張っていることを言語化していくことが我々の役割だと思う。言える場所、言える時間、話ができる時間を作り、共感し、癒しの場を作ることで、認め合える関係づくりをしていきたい。